



0 7 1 9 0 0 0 3 4

*2017年7月 改訂（第2版）（新記載要領に基づく改訂）
2006年4月 作成（第1版）

コード番号 A2C6603, A2C6671

Baxter

届出番号 13B1X00208000006

機械器具 51. 医療用嘴管及び体液誘導管
一般医療機器 輸液用延長チューブ 12170001

インターリンク 輸液セット用延長チューブ

再使用禁止

【警告】

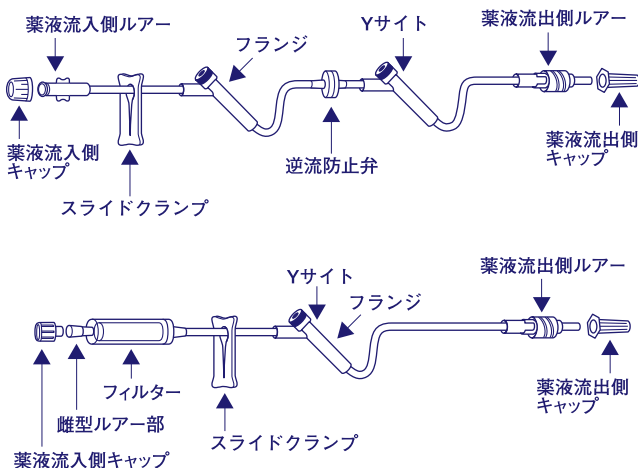
1. チューブを穿刺しないこと。[空気塞栓を引き起こすおそれがある。]
2. 中心静脈カテーテル、動脈カテーテルやその他の重要な箇所（偶発的な接続外れを起こした場合、重篤な症状もしくは死亡をまねく箇所）に使用されるラインと接続する場合は、ルアースリップアダプターを使用しないこと。[偶発的な接続外れが起こった場合、失血、空気塞栓等の合併症あるいは重要な治療の中断により、重篤な症状さらには死亡にいたるおそれがある。]

【禁忌・禁止】

1. 再使用禁止
2. 再滅菌禁止

【形状・構造及び原理等】

- ・本品は滅菌済みで、発熱性物質を含有しない。
- ・本品は、可塑剤：DEHP：フタル酸ジ（2-エチルヘキシル）を含まないポリ塩化ビニル（可塑剤：TOTM、トリメリット酸トリ-2-エチルヘキシル）を使用している。
- ・本品は天然ゴムを使用していない。



コード番号	タイプ名	プライミング量	全長
A2C6603	2Yサイトタイプ逆流防止弁付き	4.9mL	89cm
A2C6671	1Yサイトフィルター付きタイプ	4.7mL	41cm

（プライミング量と全長はおよその値である。）

【使用目的又は効果】

輸液等のラインを延長するために用いる。

*【使用方法等】

操作は無菌の方法により行う。

1. 本品を包装から取り出す。
2. 薬液流入側ルアー又は、雌型ルアー部の接続と薬液流入側キャップが外れていないことを確認する。
3. 薬液流入側ルアー又は、雌型ルアー部を輸液セットに接続する。（ルアーロックアダプター付きの輸液セットが推奨されている。）
4. プライミングの準備をし、本品内の空気を除去する。Yサイトは、逆さにして指で軽くはじいて、空気を除去する。フィルター付きの場合は、空気を除くために、フィルターに薬液を滴らし、逆さまにして、軽くたたいてプライミングを行う。（フィルターは、96時間使用での細菌除去試験に合格している。）

【注意】 本品内部には、絶対に空気が入らないようにすること。

5. 本品についているスライドクランプは、必要に応じて開閉する。

【注意】 本品のスライドクランプを用いて流量を調節しないこと。

【注意】 フィルター付きの場合、本品を使用しないときは、フィルターの下のクランプを閉じること。

6. 薬液流出側ルアーを、カテーテル留置針、延長チューブ、三方活栓等のコネクター又は、インターリンク・カニューラ（日本ベクトン・ディッキンソン株式会社）につなぐ。その際、接続不良事故を防ぐために、押しながら時計回りにまわし入れ、しっかりと締めて固定する。なお、使用前に各部が確実に接続されていることを再確認する。

【注意】 無菌性を保つため、インターリンク・カニューラを介して、本品と接続しているシリンジおよび輸液セットを外さないこと。

7. 輸液セットのクランプで薬液の流量を調節すること。

8. インターリンク・カニューラ付きの輸液セットおよびシリンジ等を用いてYサイトに接続する場合は、Yサイトを固定するためにフランジ部を持って、インターリンク・カニューラの薬液流出側をYサイトの表面にしっかりと押し付け、確実に接続する。

【注意】 Yサイトから薬液を注入する場合には、インターリンク・カニューラを使用する。

【注意】 穿刺前に、Yサイトのカニューラ挿入部のゴム部分を、消毒綿等で、消毒し、インターリンク・カニューラを適切な器具に接続して、Yサイトの中心部分に挿入する。消毒方法は、カニューラ挿入部のゴム部分を一方向に消毒する。

【注意】 金属針を用いる必要がある場合は、ゲージの細い針を用い、ゴム部分のスリット部外側に挿入する。

【注意】 インターリンク・カニューラがYサイトに接続されている場合は、カニューラと接続している輸液セットやシリンジ、その他の器具等を外さないこと。

9. 薬剤の配合変化を防ぐために、薬液投与が終了したら、必ずYサイトをフラッシュすること。

【注意】 薬液投与後のフラッシュは、フラッシュ効率を上げるために、下記の手順に従って確実に行うこと。[確実なフラッシュが行われないと、血液の滞留による感染助長のリスク、薬液の化学反応の影響による薬効への影響、カテーテル閉塞、フィルターの目詰まりのおそれがある。]

①カニューラの先端を回しながら、②フラッシュ溶液を注入し、③注入を維持したままカニューラを垂直に引き抜く。

*【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

1. 本品のチューブ、または接続部分を引っ張る等、過度の負荷をかけないこと。[チューブ接続部分から漏れを生じるおそれや、チューブ又は接続部分が外れるおそれがある。]
2. フィルターは、空気を排出するために、垂直方向で使用する。
3. フィルターの位置は、患者の心臓、またはその下にすること。
4. 使用中、フィルターの空気排出口をふさがないこと。
5. フィルター付きの場合、内部圧は、45psiを超えないようにすること。
6. 乳化剤、または、輸液に不溶な薬剤を、フィルターに使用しないこと。
7. フィルターより下の部分で薬液投与を行う場合は、フィルターと投与部の間のチューブを閉塞すること。
8. 使用中は、本品の破損、結合部のゆるみおよび薬液漏れについて定期的に確認すること。
9. ひび割れが確認された場合は、直ちに新しい製品と交換すること。
10. 輸血および採血には使用しないこと。
11. 本品の交換に際しては、感染防止に留意すること¹⁾。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

直射日光を避け、乾燥した涼しい場所で室温にて保管する。

*2. 有効期間等

使用期限は包装又は外箱に記載する（自己認証による）

*【主要文献及び文献請求先】

1. 主要文献

- 1) CDC（米国疾病管理センター）の血管内留置カテーテル関連感染予防のためのガイドライン

2. 文献請求先

バクスター株式会社

連絡先：03（6204）3900

*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者（輸入元）：

バクスター株式会社

連絡先電話番号：03（6204）3900

Baxter 及びインターリンクはバクスターインターナショナルリンクの登録商標です

製造販売元（輸入元）

バクスター株式会社

07-19-00-0034